

小麦どころ音更の魅力感じて

【音更】小麦どころ音更の魅力を伝える「親子ふれあいパン教室」が、7月28日午前10時から帯広市内のとかちプラザで開かれる。十勝産小麦を原料にしたパンを作るほか、収穫間近の町内の小麦畑の観察とジャガイモ掘りの体験もできるユニークな内容だ。教室にはツアーの一環として東京からの参加者も加わる。 (酒井花)

来月28日、帯広でパン教室

十勝管内でパン用小麦の 早川喬恵さん（浦幌町出生産と普及拡大を図る十勝 身）。当日は十勝のホクシ産強力小麦普及拡大推進協 ンなど代表的な小麦を使っ議会（柏葉正夫会長）の主で、シンプルなパンを作催。収穫期に黄金色に輝くる。

小麦の生産量が2006年度で作付面積が66666ヘクタール、総取扱量が3万1739ト（いずれもJAおとふけ）と全国一の規模を誇る。近年、地産地消の高まり音更。終了後の午後から

100%十勝産を原料に 畑観察やイモ掘りも

でポストハーベスト（収穫後の農薬使用）の心配がない道産小麦は本州方面でも注目されており、教室には東京から10人の親子がツアーの一環として参加する。パン教室の講師は、東京在住で十勝産小麦粉を使ったパンや料理の普及に努める



早川喬恵さん

同会の山本マサヒコ事務局長は「十勝の恵みを実感してほしい」と話している。

参加費用は親子で2000円。申し込み、問い合わせは同会事務局（31・1168）へ。